

生体構造機能学講座

解剖学・人類学分野

著 書

- 1 末次文祥：イラストレーションで見る僧帽弁解剖の基礎知識。特集・学び直しの僧帽弁逆流。月刊心エコー 25：12-23, 2024, 1. 文光堂, 東京.
- 2 菊池泰弘：椎骨形態からみたナチョラピテクスの移動運動様式。日本人類学会進化人類学分科会ニューズレター, 5-10, 2024, 4. 日本人類学会進化人類学分科会, 京都.
- 3 末次文祥：イラストレーションで理解するアブレーションに必要な心臓解剖。必ずできる！実践的カテーテルアブレーション 15-30, 2024, 10. 日本医事新報社, 東京.

原著論文

- 1 Uchida Y, Shibata K, Aijima R, Danjo A, Yamashita Y, Kuraoka A: Anatomical study on the posterior alveolar canal in maxillary tuberosity region using computed tomography. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 36: 798-803, 2024.
- 2 Yoshizuka H, Nakao Y, Kuraoka A: Application of stretchable strain sensors and an inertial measurement unit for simulative tension analysis of the calcaneofibular ligament in formalin-fixed cadavers. Clin Biomech. 120: 106358, 2024.
- 3 Mitsutake T, Nakazono H, Shiozaki T, Taniguchi T, Yoshizuka H, Sakamoto M: Neural interference effects on lateral vestibulospinal tract excitability by noisy galvanic vestibular stimulation. Clin Neurophysiol. 168: 153-160, 2024.
- 4 Kikuchi Y, Amano H, Ogihara N, Nakatsukasa M, Nakano Y, Shimizu D, Kunimatsu Y, Tsujikawa H, Takano T, Ishida H: Retrodeformation and functional anatomy of a cranial thoracic vertebra in *Nacholapithecus kerioi*. J Hum Evol. 198: 103613, 2025.
- 5 *Tomizawa Y, Pina M, Kikuchi Y, Morimoto N, Nakatsukasa M: Femoral neck cortical bone distribution in *Nacholapithecus* from the Middle Miocene of Kenya. J Hum Evol. 198: 103617, 2025.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Yoshizuka H, Nakao Y, Kuraoka A: Simulative tension analysis of the calcaneofibular ligament in formalin-fixed cadavers using stretchable strain sensors and an inertial measurement unit. Asian Western Pacific Region Congress 2024. 2024, 9, 26-28. abstract book.
- 2 Nakao Y, Yoshizuka H, Taniguchi T, Kuraoka A: A in vivo pilot analysis on the relationship between ankle eversion peak torque and plantar/dorsiflexion using a handheld dynamometer. Asian Western Pacific Region Congress 2024. 2024, 9, 26-28. abstract book.
- 3 Suetsugu F: Anatomy of the tricuspid valve in illustration. ISMICS 2024 Workshop. 2024, 11, 8-9. abstract book.

国内全国規模の学会

- 1 末次文祥：心臓外科医が描いた正しい心臓解剖図。第8回日本メディカルイラストレーション学会学術集会。2024, 3, 17.

- 2 中尾優太郎, 吉塚久記, 倉岡晃夫: 内がえしは踵腓靱帯のテンショナー効果を増強する～感圧センサによる解剖体の機能解析～. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会. 2024, 3, 21-23.
- 3 菊池泰弘: 類人猿, 旧世界ザル, 新世界ザルにおける第3-5頸椎の形態特徴. 第129回日本解剖学会総会・全国学術集会. 2024, 3, 21-23.
- 4 *隅 聡子, 隅 康二, 三輪佳愛, 合島怜央奈, 柏村晴子, 山下佳雄, 岡 暁子: 多数歯う蝕, 診療不協力傾向のある口蓋裂児に対する小児歯科と矯正歯科の病診連携. 第48回日本口蓋裂学会総会・学術総会. 2024, 5, 30-31.
- 5 ○檀上 敦, 蒲原麻菜, 近藤成智, 隅 康二, 合島怜央奈, 山下佳雄: 外科矯正治療中に精神障害を認めた4症例. 第34回日本顎変形症学会総会・学術大会. 2024, 6, 27-28.
- 6 菊池泰弘, 西村 剛, 荻原直道: 類人猿, オナガザル科, クモザル科における第3-5頸椎の形態比較分析. 第78回日本人類学会大会. 2024, 10, 12-14.
- 7 川久保善智, 竹下直美, 大野憲五, 波田野悠夏: 相同モデルを応用した伝石田三成の中顔部復元. 第78回日本人類学会大会. 2024, 10, 12-14.
- 8 ○大野憲五, 川久保善智, 竹下直美, 池田知哉: 弥生時代人と古墳時代人の頭蓋顔面形態比較. 第78回日本人類学会大会. 2024, 10, 12-14.
- 9 吉塚久記, 福田謙典: 内側半月板逸脱に対する理学療法. 第29回日本基礎理学療法学会学術大会. 2024, 10, 12-13.
- 10 中尾優太郎, 吉塚久記, 谷口隆憲, 倉岡晃夫: 外がえしのRate of force developmentに対する底背屈の影響: 踵腓靱帯のテンショナー効果の解明に向けて. 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2024, 11, 1-3.
- 11 末次文祥: イラストレーションで見る右心系と刺激伝導系の深掘り解剖. ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション2024. 2024, 11, 22-23.
- 12 末次文祥: イラストレーションで学ぶ心臓の解剖—冠動脈を中心に—. 第37回日本冠疾患学会学術集会. 2024, 11, 29-30.

地方規模の学会

- 1 隅 康二, 隅 聡子, 合島怜央奈, 檀上 敦: 低位下顎第一大臼歯の抜歯症例. 第19回九州矯正歯科学会学術大会. 2024, 1, 27-28.

その他の学会

- 1 川久保善智: 長岡藩牧野家9代忠精公と11代忠恭公の復顔. 「長岡藩主・正室等復顔模型」再公開と研究成果発表会. 2024, 3, 9-10.
- 2 末次文祥: イラストレーションで見る心臓の構造: 成人先天性心疾患インターベンションのための解剖知識. 第17回成人先天性カテーテル治療研究会. 2024, 7, 27.
- 3 柴田健太郎, 坂梨史典, 齊藤秀俊, 村田祐造: Rat 胚子の心筋収縮開始前における血液循環に関する検討: α -SMA 免疫組織学的解析. 第14回国際医療福祉大学学会学術大会. 2024, 9, 16.
- 4 *齊藤秀俊, 武田弘志, 柴田健太郎: 感覚変容をもたらすストレス応答脳神経回路の解明. 第14回国際医療福祉大学学会学術大会. 2024, 9, 16.
- 5 末次文祥: 正常心と先天性心疾患の解剖. 日本小児循環器学会第13回多領域ミニカンファレンス. 2024, 9, 18.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	倉岡 晃夫	科学研究費補助金	基盤研究(C)	1	足部制御機構の新展開：三角靱帯は後脛骨筋腱のテンショナーとして機能し得るか？	3,120
講 師	菊池 泰弘	科学研究費補助金	基盤研究(B)	1	1500万年前アフリカ産化石類人猿の体幹復元：大型類人猿における体幹直立位の進化解明	8,450
講 師	菊池 泰弘	科学研究費補助金	基盤研究(C)	2	四肢体幹骨形態からみた白保人	500
講 師	菊池 泰弘	住友財団	基礎科学研究助成	1	アフリカ産化石類人猿・空白期の発掘調査：ヒト直立二足歩行の進化解明に向けて	3,000
助 教	川久保善智	科学研究費補助金	基盤研究(C)	1	百年ぶりに発見された石田三成頭蓋の石膏レプリカに基づく復顔	700

組織・神経解剖学分野

原著論文

- 1 *Kashio M, Derouiche S, Yoshimoto RU, Sano K, Lei J, Kido MA, Tominaga M: Involvement of TRPV4 in temperature-dependent perspiration in mice. eLife. 13:RP92993. doi: 10.7554/eLife.92993, 2024, 7.
- 2 °Bogahawaththa S, Hara M, Furukawa T, Iwasaka C, Sawada T, Yamada G, Tokiya M, Kitagawa K, Miyake Y, Kido MA, Hirota Y, Matsumoto A: Asian Flush Gene Variant Enhances Cellular Immunogenicity of COVID-19 Vaccine: Prospective Observation in the Japanese General Population. Vaccines (Basel). 12(9): 1015. doi: 10.3390/vaccines12091015, 2024, 9.

総 説

- 1 *Ono K, Ueno T, Kido MA, Hitomi S, Naniwa M, Nakatomi C, Yoshimoto RU, Sawada T, Kato T: Recent advances in the treatment of oral ulcerative mucositis from clinical and basic perspectives. J Oral Biosci. 66(3). 504–510. doi: 10.1016/j.job.2024.06.002, 2024, 6.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Yoshimoto RU, Aijima R, Ohsaki Y, Mihara H, Sawada T, Cao A, Gao W, Tominaga M, Kido MA: Warm-activated TRPV4 regulates cell migration and cell-cell contact through modulation of actomyosin dynamics. The 52nd Naito Conference on Frontiers of Physical and Mechanical Biology. 2024, 10, 1-4.
- 2 Kido MA, Gao W, Sawada T, Yoshimoto RU, Ohsaki Y, Yamaguchi Y, Kadowaki T, Tsukuba T: Bone loss and suppressed osteoblastic Piezo channels in asthma mice. The 52nd Naito Confer-

ence on Frontiers of Physical and Mechanical Biology. 2024, 10, 1-4.

国内全国規模の学会

- 1 曹 愛琳, 高 瑋琦, 澤田孟志, 吉本怜子, 城戸瑞穂: TRPV1を介した顔面の感覚過敏. 生理学研究所 痛みの研究会2023. 2024, 1, 11-12.
- 2 澤田孟志, 吉本怜子, 松本明子, 牧野優徳, 高 瑋琦, 曹 愛琳, 城戸瑞穂: アルデヒド脱水素酵素 2 欠失がアレルギー性喘息モデルマウスの上皮バリアと気道過敏性に与える影響. 第129回日本解剖学学会総会・全国学術集会. 2024, 3, 21-23.
- 3 曹 愛琳, 高 瑋琦, 澤田孟志, 吉本怜子, 合島怜央奈, 大崎康吉, 城戸瑞穂: 顔面皮膚の機械的感覚過敏に関与する三叉神経節の可塑性. 第129回日本解剖学学会総会・全国学術集会. 2024, 3, 21-23.
- 4 吉本怜子, 合島怜央奈, 澤田孟志, 高 瑋琦, 曹 愛琳, 大崎康吉, 城戸瑞穂: 温度感受性イオンチャネル TRPV4によるアクトミオシン動態と創傷治癒の制御. 第129回日本解剖学学会総会・全国学術集会. 2024, 3, 21-23.
- 5 高 瑋琦, 澤田孟志, 曹 愛琳, 吉本怜子, 福田孝一, 城戸瑞穂: 骨代謝調節に関わる Piezo チャネルの機能局在. 第129回日本解剖学学会総会・全国学術集会. 2024, 3, 21-23.
- 6 城戸瑞穂, 吉本怜子: 上皮細胞の集団移動を調節する温度感受性 TRP チャネル. 学術委員会・日本顕微鏡学会連携シンポジウム, 「メカノバイロジの最先端」. 第129回日本解剖学学会総会・全国学術集会. 2024, 3, 21-23.
- 7 城戸瑞穂, 吉本怜子, 澤田孟志, 高 瑋琦: 歯肉接合上皮のメカノセンサーと歯周病. メインシンポジウム「歯周病予防の最前線－接合上皮から考える歯を守るバリア機能」. 第66回歯科基礎医学会学術大会. 2024, 11, 2-4.
- 8 *和田裕子, 城戸瑞穂, 清島 保: 歯の発生におけるメカノセンサー Piezo1のエナメル質形成への影響. 第66回歯科基礎医学会学術大会. 2024, 11, 2-4.
- 9 藤隆之介, 吉本怜子, 牧野優徳, 高 瑋琦, 澤田孟志, 城戸瑞穂: 顔面の機械的感覚過敏を調節するアルデヒド脱水素酵素 2. 第66回歯科基礎医学会学術大会. 2024, 11, 2-4.
- 10 高 瑋琦, 澤田孟志, 曹 愛琳, 吉本怜子, 牧野優徳, 藤隆之介, 城戸瑞穂: Piezo チャネルの骨芽細胞における局在と骨代謝への影響. 第66回歯科基礎医学会学術大会. 2024, 11, 2-4.
- 11 澤田孟志, 吉本怜子, 牧野優徳, 高 瑋琦, 藤隆之介, 城戸瑞穂: アルデヒド脱水素酵素 2 (ALDH2) 遺伝子欠失マウスにおけるアレルギー性喘息の増悪. 第66回歯科基礎医学会学術大会. 2024, 11, 2-4.

地方規模の学会

- 1 澤田孟志, 吉本怜子, 高 瑋琦, 石井由美子, 牧野優徳, 藤隆之介, 松本明子, 城戸瑞穂: アルデヒドがアレルギー性喘息の増悪に与える影響. 第66回日本顕微鏡学会九州支部集会・学術講演会. 2024, 12, 14.
- 2 *福田孝一, 高 瑋琦, 澤田孟志, 曹 愛琳, 吉本怜子, 城戸瑞穂: CLEM 法によるマウス大腿骨骨芽細胞における Piezo タンパクの局在の解明. 日本解剖学会第80回九州支部学術集会. 2024, 11, 16.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
助 教	吉本 怜子	科学研究費助成事業	若手研究	1	口腔粘膜に発現するメカノセンサーイオンチャネルを標的とした上皮創傷治癒促進	1,690
医学部 外国人 研究者	曹 愛琳	科学研究費助成事業	研 究 活 動 ス タート支援	1	顎顔面の感覚過敏へのメカノセンサーチャネルの関与	1,430
教 授	城戸 瑞穂	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	気道ウイルス感染時の上皮バリア機能とサイトカイン産生に着目した喘息治療標的の同定	200
助 教	石井由美子	公益財団法人 MSD 生命科学財団	助成金	1	細胞間接着分子クロードイン-3のアレルギー性免疫疾患応答における新規役割の解明	910
医学部 外国人 研究者	高 瑋琦	科学研究費助成事業	研 究 活 動 ス タート支援	1	アレルギー疾患による骨減少機構の解明	1,430

器官・細胞生理学分野

学会発表

国内全国規模の学会

- Shioya T: Development of EAD in heart cells involves reverse E-C coupling and reverse electrotonic conduction along T-tubules. 第101回日本生理学会大会. 2024, 3, 28-30.

地方規模の学会

- 塩谷孝夫: 心筋細胞の Calcium Speckles は、動的平衡によってリエントリー・ローターを持続させる. 第75回西日本生理学会. 2024, 10, 18-19.

その他の学会

- 塩谷孝夫: マウス心筋細胞の安定な単離法の開発と電気生理学. 2024年 筋生理の集い. 2024, 12, 21.

神経生理学分野

学会発表

地方規模の学会

- *Odgerel Zorigt, Hiroki Yasuda, Takahito Nakajima, and Yoshito Tsushima: Gadolinium induces mGluR-, eCB-, and P2XR-dependent long-term depression of evoked synaptic transmission ガドリニウムによる代謝型グルタミン酸受容体・内因性カンナビノイド・ATP 受容体依存性長期抑圧. 第101回日本生理学会大会. 2024, 3, 30(土).
- Hiroki Yasuda, Kazuhiro Sohya: Physiological and behaviorological approach for psychiatric phenotypes 精神医学への生理学・行動学的アプローチ. 第101回日本生理学会大会. 2024, 3, 29(金).

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	安田 浩樹	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	不安を緩衝する腹側海馬神経回路の探索	0 (410)
教 授	安田 浩樹	科学研究費助成事業	基盤研究(B)	2	2型炎症メディエーターによるアトピー性皮膚炎における痒みのネットワークの解明	100
准教授	惣谷 和広	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	慢性ストレスによる BBB の脳バリア機能障害と脳内炎症の局在性の因果関係の解明	1,800
助 教	栗原 大河	科学研究費助成事業	若手研究	1	認知機能改善効果を有する機能性リゾリン脂質の探索とその作用機序の解明	0 (884)
助 教	栗原 大河	科学研究費助成事業	若手研究	1	うつ病予防効果を有する豚肝臓分解抽出物由来の生理活性ペプチドの同定	1,200

※ () は繰越金で外数

薬理学分野

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	寺本 憲功	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	血管平滑筋方 ATP 感受性カリウムチャネルの リン酸化就職機序の可視化研究	1,600
准教授	鬼頭 佳彦	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	運動療法による大腸リハビリテーション効果の解明	0 (1,254)
准教授	鬼頭 佳彦	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	IBS 発症トリガーとしての交感神経系 SIP syncytium 機能の解明	1,000

※ () は繰越金で外数